

# 東洋炭素 2007年5月期 決算説明会

C × TOYO TANSO = 

TOYO  
 東洋炭素株式会社

2007年7月

1. 2007年5月期決算の概要	P. 02
1-1. 業績推移（連結）	P. 03
1-2. 2007年5月期業績（連結）	P. 04
1-3. 製商品・分野別概況（連結）	P. 05
1-4. 地域別概況（連結）	P. 08
1-5. 2007年5月期貸借対照表（連結）	P. 09
1-6. 2007年5月期キャッシュ・フロー計算書（連結）	P. 10
2. 2008年5月期業績予想	P. 11
2-1. 2008年5月期業績予想（連結）	P. 12
2-2. 将来への投資（設備投資・減価償却費・研究開発費）	P. 13
2-3. 主要経営指標の推移（連結）	P. 14
3. トピックス	P. 15
3-1. 生産能力の増強	P. 16
3-2. 中国4番目の拠点となる「嘉祥東洋炭素有限公司」の開業	P. 18
3-3. ブラシ開発部門の強化／日本原子力研究開発機構と共同研究を開始	P. 19

# ∞ 2007年5月期決算の概要

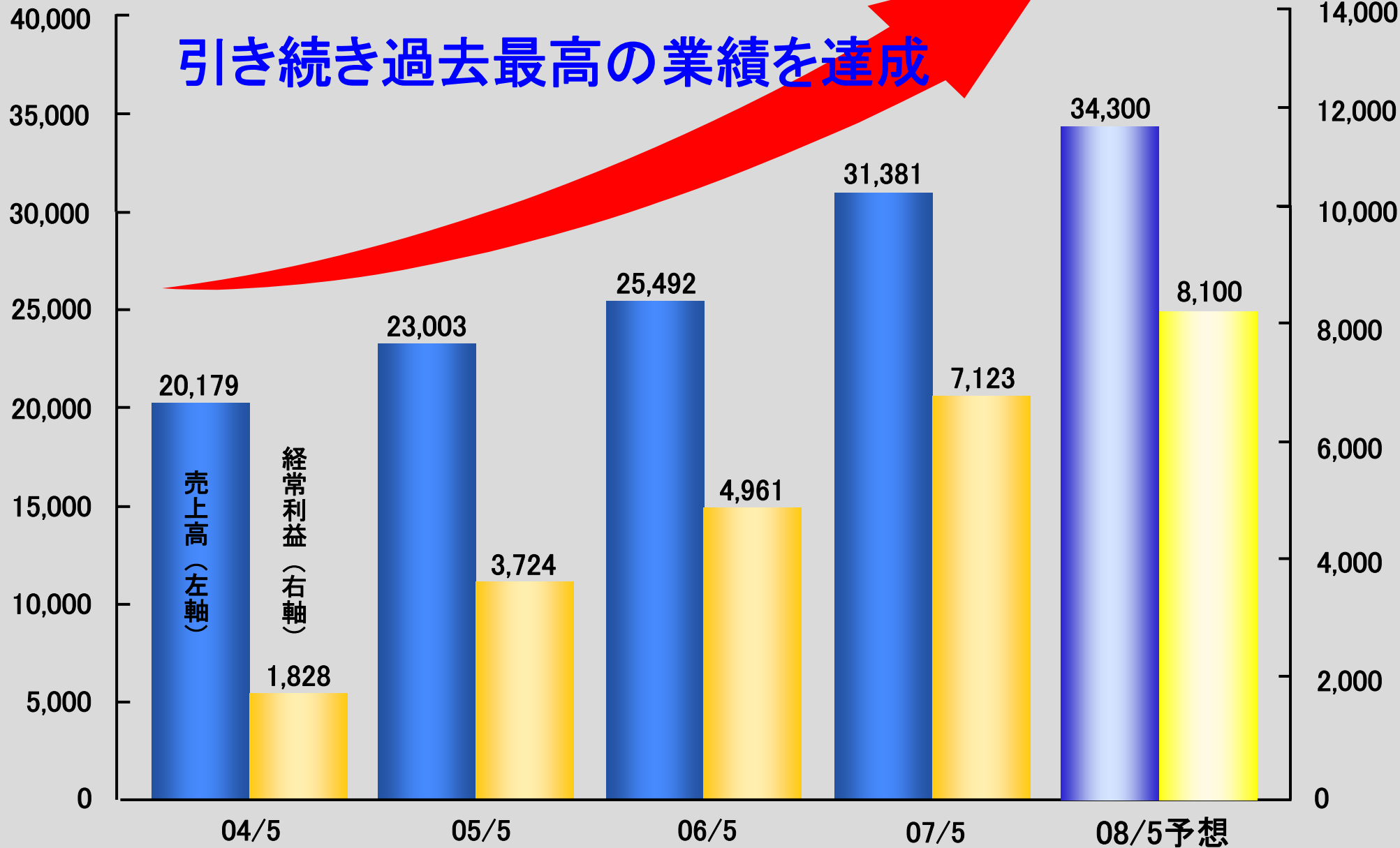
---

# 1-1. 業績推移 (連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)

引き続き過去最高の業績を達成



# 1-2. 2007年5月期業績(連結)

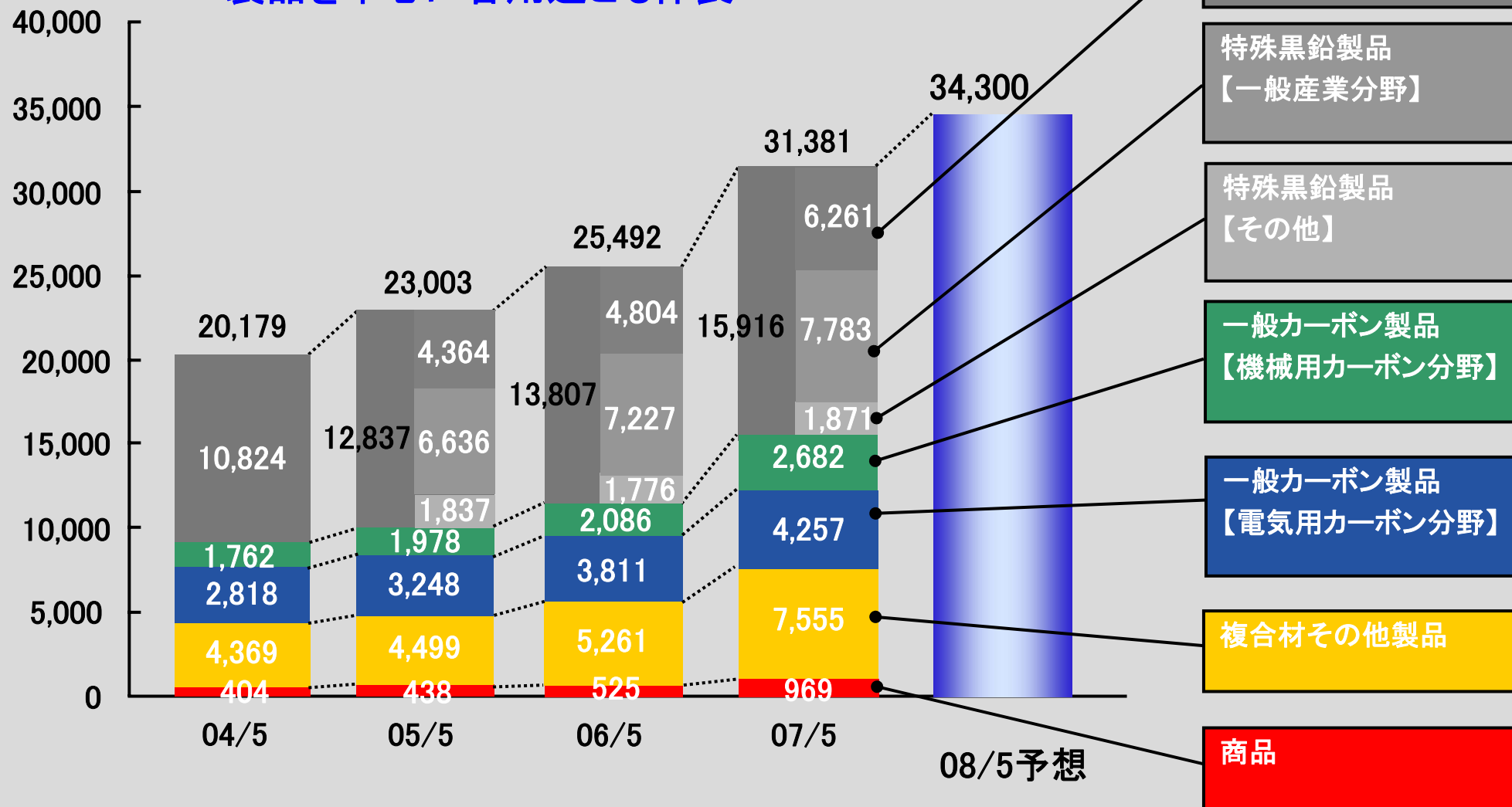
(単位:百万円)

	06/5月期	07/5月期	増減率	ポイント
<b>売上高</b>	25,492	31,381	23.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エレクトロニクス分野をはじめ各用途において旺盛な需要を取り込むとともに、高付加価値品へのシフトを含む販売価格向上ならびに新規製品の販売実現等により、前期比23.1%の増収。</li> </ul>
<b>営業利益</b>	4,955	6,925	39.7%	
(売上高営業利益率)	(19.5%)	(22.1%)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記増収に伴う限界利益増に加え、生産性改善によるコストダウンおよび製品毎の収益極大化努力により、減価償却費増・人件費増等をこなし前期比39.7%の増益および営業利益率2.6ポイント改善を達成。</li> </ul>
<b>経常利益</b>	4,961	7,123	43.6%	
<b>税引前利益</b>	4,915	7,514	52.9%	
<b>当期純利益</b>	2,769	4,439	60.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 留保金課税不適用等により法人税減少</li> </ul>
<b>1株当たり当期純利益</b>	242円76銭	329円65銭		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確定拠出年金への移行益405百万円、受入助成金151百万円を計上。</li> </ul>

# 1-3. 製商品・分野別概況(連結) ① 売上高推移

特殊黒鉛商品(エレクトロニクス分野)、複合材その他製品を中心に各用途とも伸長

(単位:百万円)



## 特殊黒鉛製品

## 【エレクトロニクス分野】

- 単結晶シリコン製造用途は、大手ウエハーメーカーにおける300mmウエハーの積極的な生産能力増強を受けて引き続き需要旺盛。デジタル家電・自動車等のアプリケーションの広がりと共に搭載数増を背景とした半導体需要の拡大と、半導体の著しい価格下落からウエハーの大口径化の流れは更に加速。強みとする大型材を中心に今後とも高水準で推移する見込み。
- 太陽電池製造用途は、世界的な環境意識の高まりを背景に需要が大幅に拡大。特に欧州での太陽電池普及を背景に、世界をリードする国内大手メーカーの増勢顕著。需要は更に拡大し、今後も大幅な市場成長が見込まれる。これらに連動し、ポリシリコン製造用途においても需要拡大中。



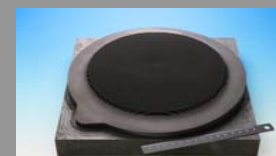
るつぼ



ヒーター

## 【一般産業分野】

- 前期より市場投入した超微粒子構造の高機能黒鉛材が寄与し金型製造用の放電加工電極が特に海外で伸長。
- 連続製造用をはじめとする冶金関連需要、ならびに工業炉関連需要が順調に増加。底堅い設備投資を背景に今後とも堅調な伸びを期待。



放電加工用電極



連続製造用ダイス

## 【その他】

- 半導体用のイオン注入装置向けならびに医療用を中心に堅調に推移。中期的には、原子力用をはじめとして先端領域における等方性黒鉛の使用領域は更に拡大予定。



ガラス封着用治具

### 一般カーボン製品

#### 【機械用カーボン分野】

- 堅調な設備投資と石油プラント等の稼働率アップを背景に、軸受け・シール材等の一般産業機械用途が堅調に推移。中でも省エネ・環境対応としてエコ対応給湯器関連需要(ポンプ・圧縮機の軸受け)が伸長。今後はグローバルベースで持続成長を期待。
- パンタグラフ用すり板は、高シェアを有する既存大手顧客の更新需要ならびに私鉄・新交通への参入などにより順調に拡大。今後、私鉄向けに更に注力。中期的には海外に照準。



シールリング



パンタグラフ用すり板

#### 【電気用カーボン分野】

- 主力の家電モーター用小型カーボンブラシにおける顧客企業の中国生産シフトの流れは継続するも、中国現地法人を核とした増加需要の積極取り込みと、国内外企業への電動工具・洗濯機向けの拡販などによりカバー。
- 日本・中国・欧州の各拠点の拡充・整備と連携を推進。グローバル展開を加速し、持続成長を志向



小型ブラシ

### 複合材その他製品

- SiCコーティング黒鉛製品は、半導体、LED関連をはじめとするエレクトロニクス関連市場の成長を背景に、化合物半導体向けを中心に大きく伸長。今後一段の成長が見込まれる。
- C/Cコンポジット製品は、主力の大型ルツボを中心に順調に拡大。太陽電池製造用への展開も推進、今後の更なる成長に向けて用途開発に注力中。黒鉛シート製品も、半導体関連を中心に需要拡大。ヒートシンク関連等の新規用途含めて、引き続き成長持続。
- オンサイトフッ素発生装置事業において、一般産業分野向けに初受注となる複数件の大型フッ素処理プラントの納入実現。半導体分野向けも含め、今後の本格的な事業展開に向け注力中。



SiCコーティング  
黒鉛製品



C/Cコンポジット  
製品



黒鉛シート



オンサイトフッ素  
発生装置



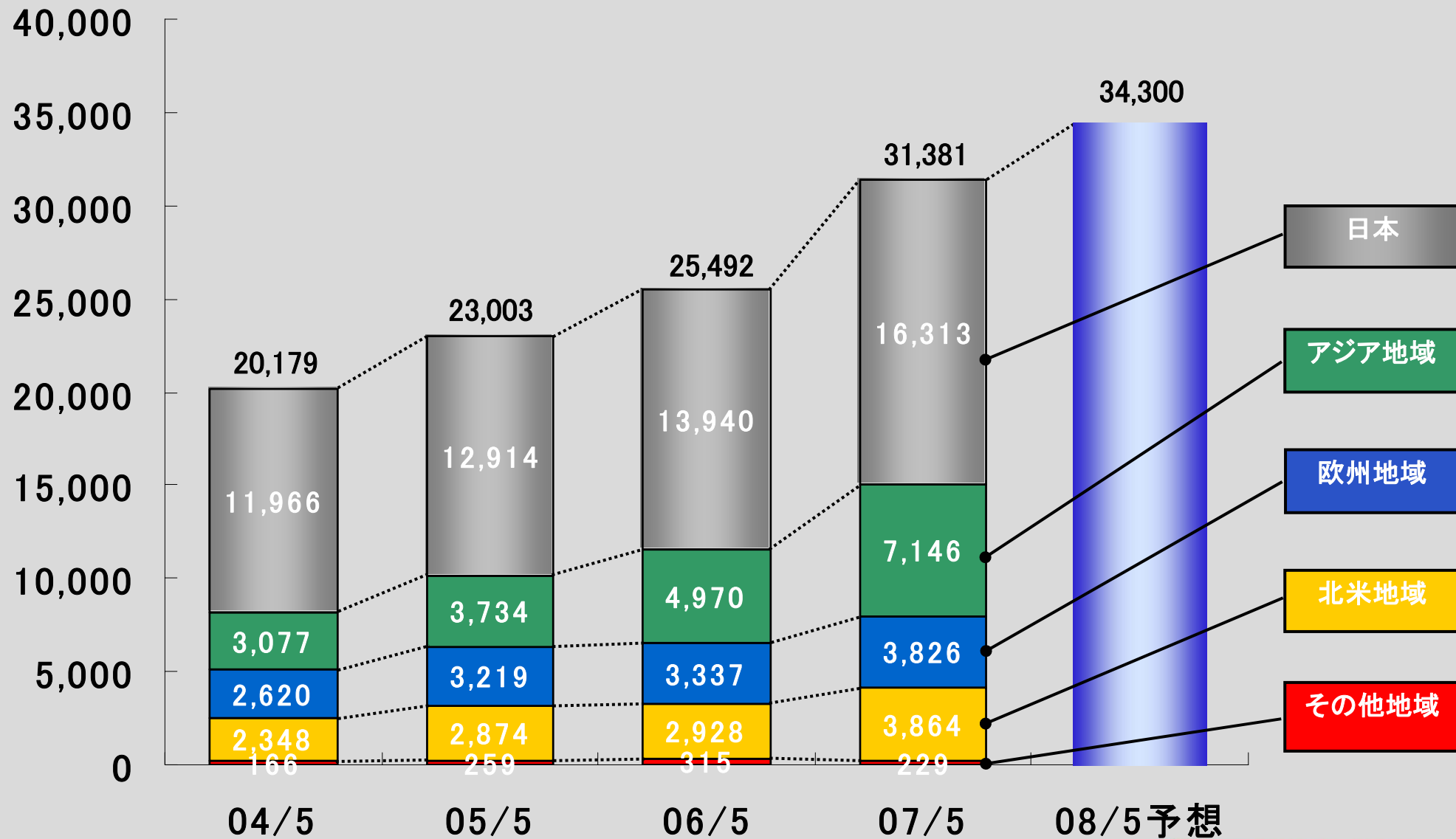
# 1-4. 地域別概況 (連結)

売上高推移

グローバル化の進展によりアジアおよび北米地域を中心に海外売上高比率が拡大

( 04/5月期 40.7% ⇒ 07/5月期 48.0% )

(単位:百万円)



# 1-5. 2007年5月期貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	06/5月末	07/5月末	ポイント
資産合計	45,112	54,830	<ul style="list-style-type: none"> <li>等方性黒鉛の大幅能力増強、高純度設備の増強、C/Cコンポジット設備の移設・増強などにより06/5月末対比3,829百万円増。</li> </ul>
受取手形及び売掛金	8,283	9,942	
たな卸資産	6,061	6,573	
有形固定資産	15,804	19,633	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業活動によるキャッシュフローを背景に有利子負債を順次削減。</li> </ul>
負債・純資産合計	45,112	54,830	
有利子負債	5,110	3,296	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募増資により2,692百万円増。</li> </ul>
資本金	5,000	7,692	
純資産	31,177	41,386	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募増資5,384百万円増、当期純利益4,439百万円による。</li> </ul>
自己資本比率	68.4%	74.8%	

# 1-6. 2007年5月期キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	06/5月期	07/5月期	ポイント
現金及び現金同等物の 期末残高	4,867	11,558	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確定拠出年金への移行益や売上拡大に伴う債権・たな卸資産増あるも、利益増と減価償却費増を背景に大幅増。</li> </ul>
現金及び現金同等物の 増減額	2,614	6,691	
現金及び現金同等物の 期首残高	2,031	4,867	
営業活動によるCF	2,554	4,993	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有形固定資産の取得、抵当証券の取得あるも、定期預金の払戻し増により大幅改善。</li> </ul>
投資活動によるCF	▲8,036	▲1,635	
財務活動によるCF	8,016	3,292	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公募増資あるも、主に長期借入金の返済により抑制。</li> </ul>

∞ 2008年5月期業績予想

---

## 2-1. 2008年5月期業績予想(連結)

	07/5月期	08/5月期 予想	増減率	ポイント
売上高	31,381	34,300	9.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き旺盛な需要の下、等方性黒鉛の生産能力増強とグローバル展開の加速により、更なる事業拡大と高付加価値化を推進し、引き続き高成長を確保する。</li> <li>大型投資実行と税制改正に伴う減価償却費の大幅増(1,421百万円)を、増収に伴う利益増と高付加価値化の推進によりカバーし、前期に引き続き増益を実現するとともに、利益率の更なる向上を目指す。</li> </ul>
営業利益 (売上高営業利益率)	6,925 (22.1%)	8,200 (23.9%)	18.4%	
経常利益	7,123	8,100	13.7%	
当期純利益	4,439	5,000	12.6%	
1株当たり 当期純利益	329円65銭	241円08銭		

(単位:百万円)

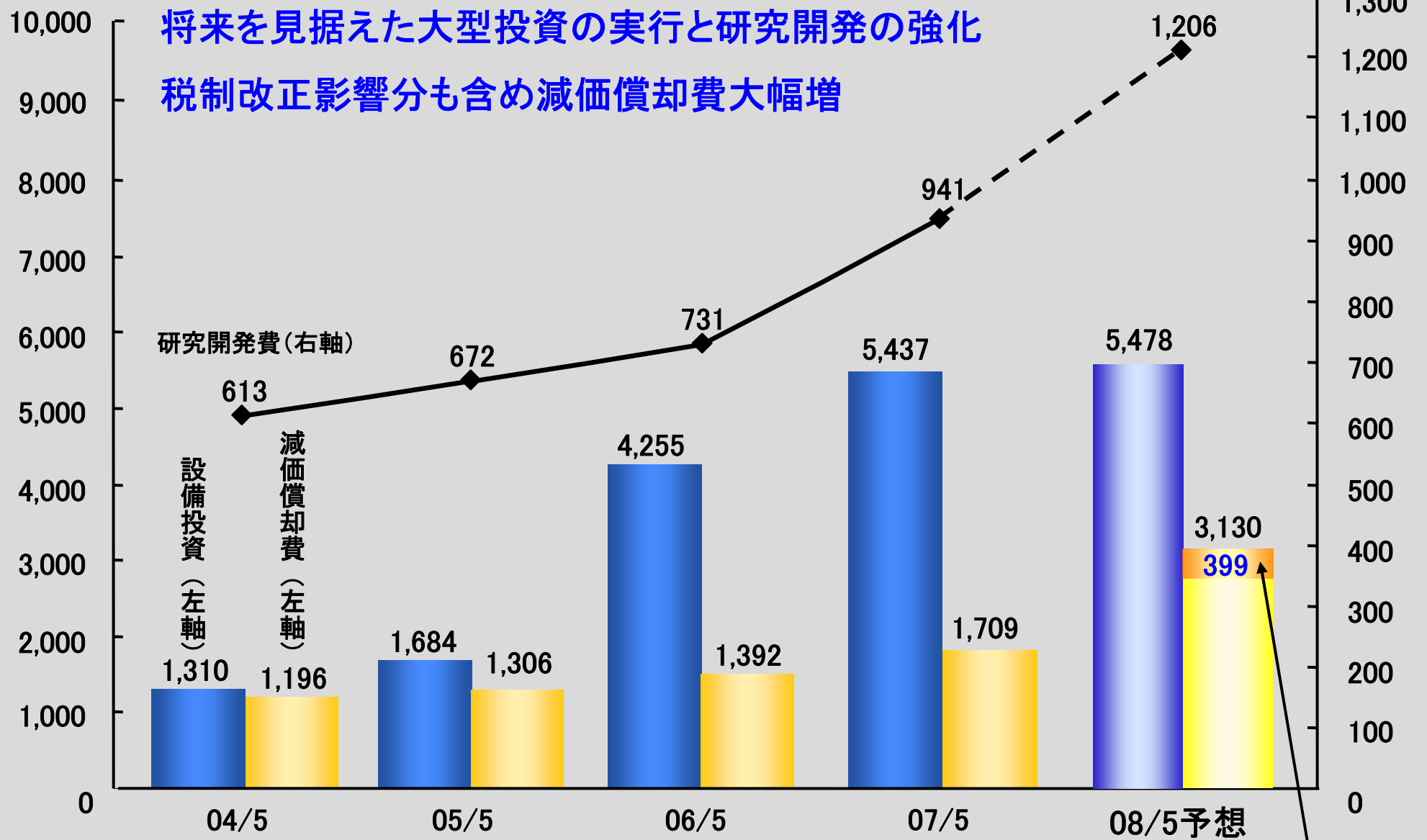
※07年6月1日付で株式を1:1.5に分割

※08/05月期の前提為替レート：110円/US\$、148円/EUR

## 2-2. 将来への投資（設備投資・減価償却費・研究開発費）

（単位：百万円）

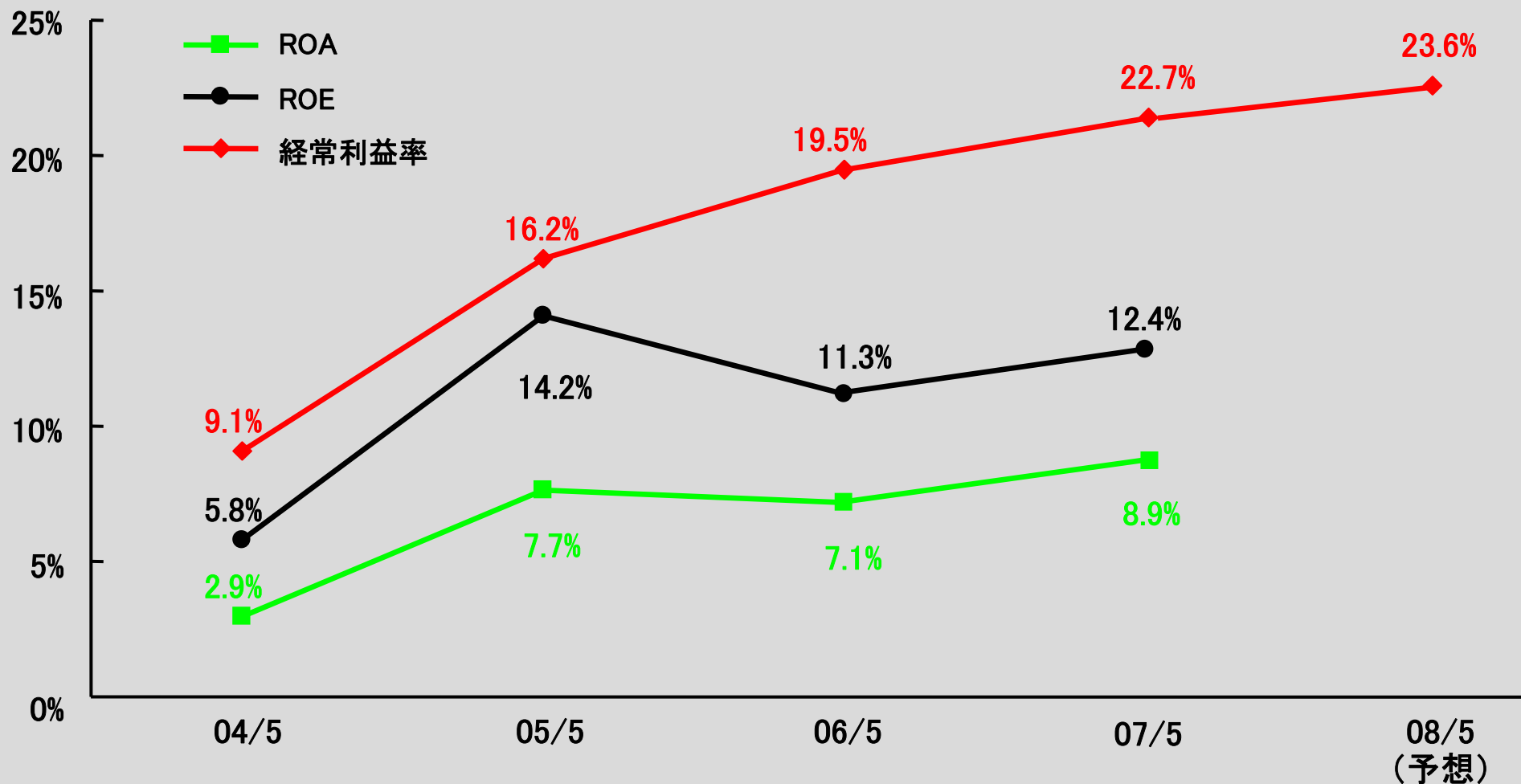
（単位：百万円）



税制改正影響分

## 2-3. 主要経営指標の推移 (連結)

各指標とも順調に向上



∞ トピックス

---

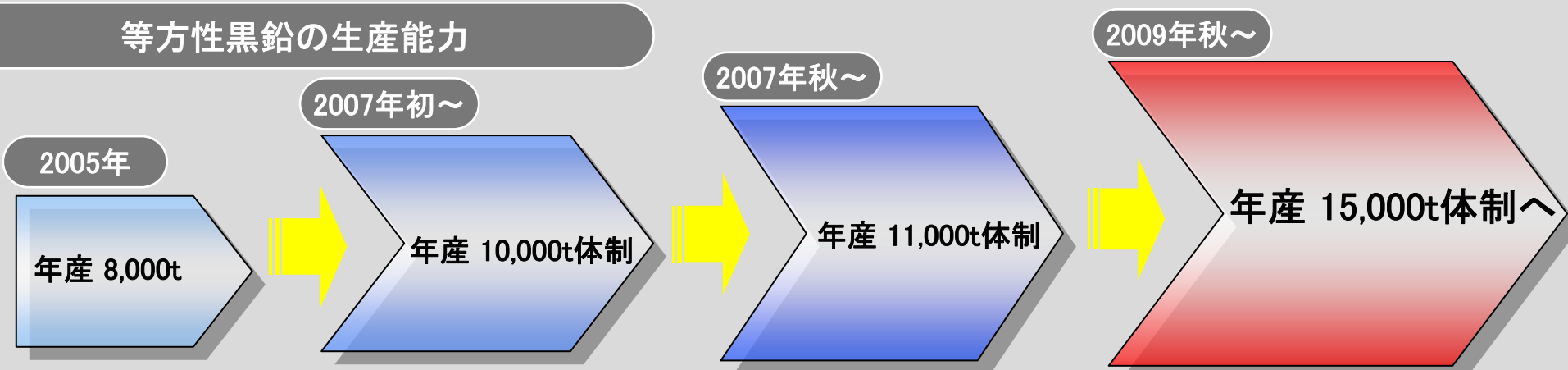
TOYO  
Ⓚ 東洋炭素株式会社



# 3-1. 生産能力の増強 ①等方性黒鉛 15,000 t 体制を確立し一段の成長とグローバル展開を加速

- ①300mmウエハーを中心とする半導体用途、放電加工電極用等の既存用途の伸張 ②太陽電池用途、LEDを中心とする化合物半導体用途、原子力・医療用途等の新規成長分野の拡大 ③新興経済国を中心とするグローバル市場の拡大等に伴う、高機能・高品質な等方性黒鉛の世界的な需要拡大 に呼応し、**年産15,000t体制を確立**する。  
(現在推進中の11,000t体制は年内に前倒し実施)
- 当社独自設計の設備と新しいプロセス・ノウハウを盛り込んだ**新大型プラント(年産4,000t規模)**を建設し、コスト・品質競争力を一段と強化するとともに、さらなる高付加価値化・差別化を推進する。
- 加工および高付加価値処理工程も含めた一連の投資規模は、総額100～150億円規模を想定。

## 等方性黒鉛の生産能力



世界最大の等方性黒鉛工場  
詫間事業所

焼成棟



焼成炉



黒鉛化炉

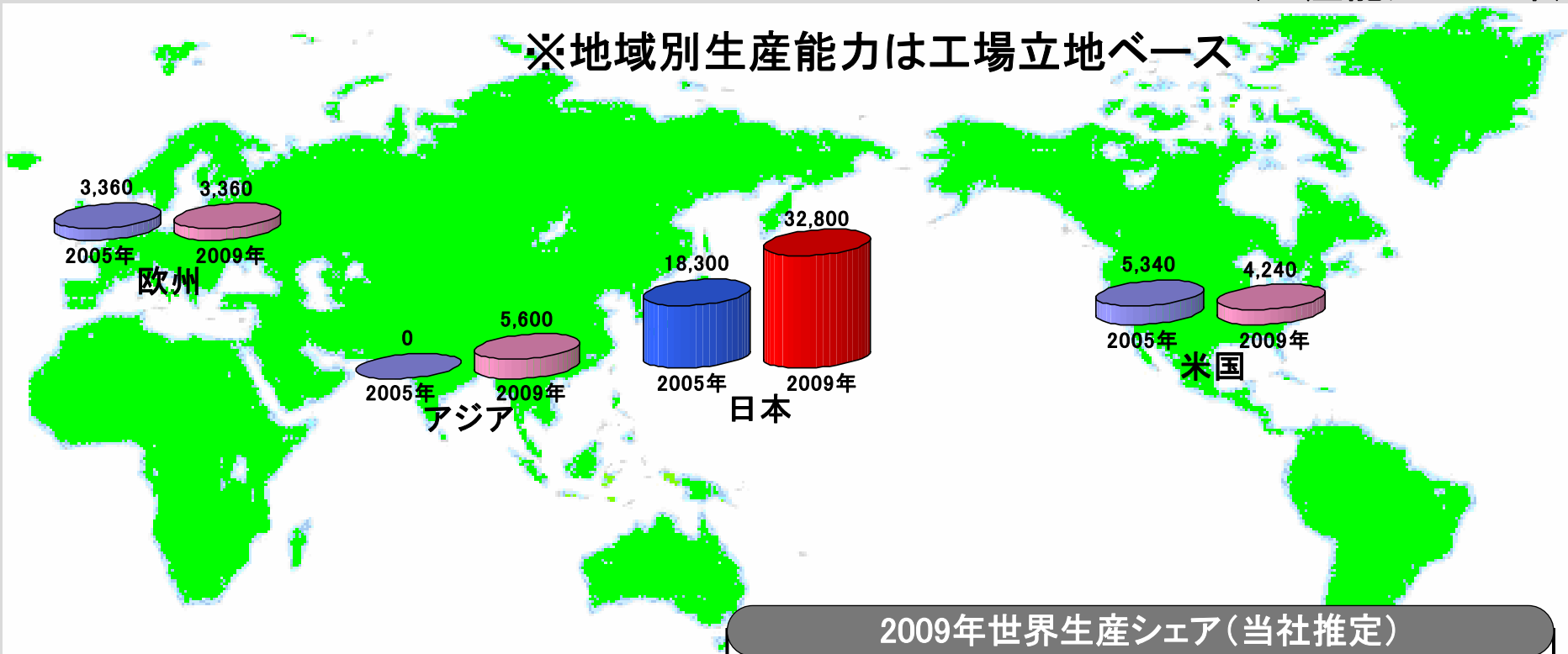


黒鉛ブロック

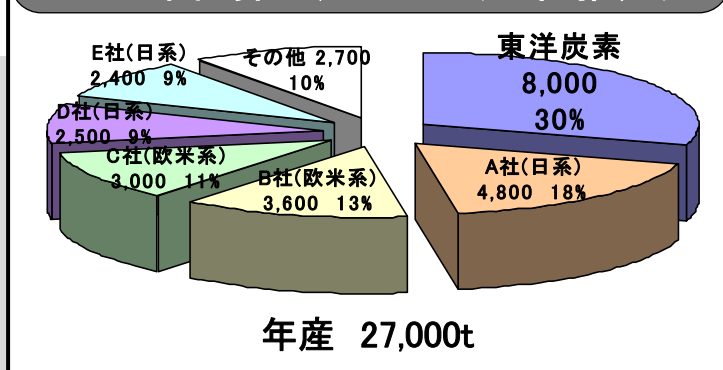
# 3-1.生産能力の増強 ②世界をリードする東洋炭素と日本の等方性黒鉛

(生産能力:t /年)

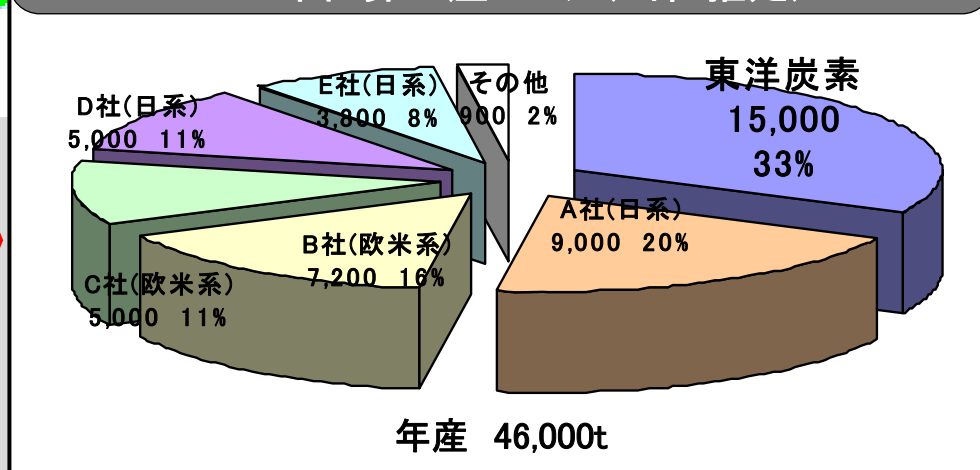
※地域別生産能力は工場立地ベース



2005年世界生産シェア(当社推定)



2009年世界生産シェア(当社推定)



## 3-2. 中国 4 番目の拠点となる「嘉祥東洋炭素有限公司」の開業

- 中国山東省に設立した合弁会社「嘉祥東洋炭素有限公司」の開業式を5月に行い、本格的な事業展開を開始。
- 山東省周辺は、電力、労働力、高速道路など充実したインフラを背景に、今後の成長エリアとして大きな期待を集めている。
- 中国において特に成長著しい太陽電池、半導体関連用途などの高機能分野に特化した特殊黒鉛製品の製造・販売を担うとともに、今後加速するグローバル展開の重点戦略拠点として位置付ける。



開業式

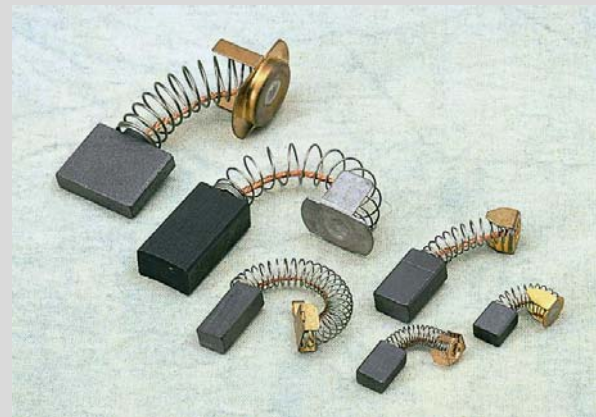


嘉祥東洋炭素有限公司

## 3-3. ブラシ開発部門の強化／日本原子力研究開発機構と共同研究を開始

### ブラシ開発部門の強化

- 2006年12月、当社は当社の完全子会社である東炭化工からブラシ開発部門およびブラシ原料製造部門を会社分割により承継。
- この事業再編により、ブラシ事業における材料開発の強化ならびにスピードアップと、原料製造技術を強化。
- 今後のブラシ事業における事業運営体制は、グローバル展開に対応して再構築を進め、シェア拡大により家電モーター用小型カーボンブラシ分野におけるリーディングカンパニーとしての地位をより一層磐石なものとする。



### 日本原子力研究開発機構と共同研究を開始

- 高温ガス炉用黒鉛材の高温・重照射データベースを、日本原子力研究開発機構と共同で、世界に先駆けて構築を目指す。
- 高温ガス炉は、安全性、効率性、経済性に優れるほか、排熱を有効利用できるため、次世代の原子炉として注目。
- 黒鉛材は燃料ブロック等に使われるが、当社製品(IG-110)は、同機構唯一の認定材であり、今後当社黒鉛製品が高温ガス炉用のグローバルスタンダードとなる可能性が高まる見込み。



IG-110黒鉛ブロック



元素記号C、原子番号6。  
私たちの炭素の夢は、  
未来へと無限に広がります。

$$C \times \text{TOYO TANSO} = \infty$$

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

<お問合せ先>

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL:06-6473-7912(代) FAX:06-6471-0444

E-mail:ir@toyotanso.co.jp